

第63期第3回青年委員会議事録

1 開催日時 令和5年1月29日(日) 午前9時30分から午後5時

2 開催場所 中央書記局、各地区本部、自宅(オンライン開催)

3 出席者

[青年委員長]

小林佑太郎

[副青年委員長]

島中翔、呉屋堯歩

[書記長]

嶋村劉汰

[執行委員]

佐藤大悟、松本琉寿、正垣峻、西原夕夏、古川遼

[中執(青年担当)]

村岡和弥(中央書記次長)

4 議題

(1) 各地区本部活動経過報告

(2) 中等科アンケートの共有

(3) 税関研修所副所長会見議題検討

(4) JCUセミナーの検討

(5) 各種アンケート内容の検討

(6) 加入懇話パンフレットの検討

(7) その他

5 議事内容

(1) 各地区本部活動経過報告

新職の加入状況について、親の月例報告で報告を求めることとしたため、今後は青年委員会において、その資料を共有し、補足等があれば共有することとした。

ア 函館

・1月21日に青年レク(カーリング)を実施する予定であったが、天候が悪く、交通機関が止まったりしていたので延期とした。春先に別のレクを検討中。

・1月27日に考査管理室長会見の統一行動を実施。

イ 東京

- ・2月27日と3月18日にボーリングレクを実施予定。対象は令和2～4年生。

ウ 横浜

- ・12月2日に意見交換会（青年役員3名、未加入者3名）を実施。今後も実施予定。
- ・1月26日に令和4年大卒が1名加入、高卒が1名脱退した。大卒は横浜委員長の個別加入懇話、高卒は元々加入するか悩んでいた者がとりあえず加入していたが脱退した。

エ 名古屋

- ・特になし。

オ 大阪

- ・12月19日に税関長交渉出席。
- ・レク等の企画を考えていたがコロナが増えて止まっている。

カ 神戸

- ・1月13日に旗開きを予定していたが延期となった（日付は未定）。

キ 門司

- ・12月13日に税関長交渉出席。その後、青年の考査管理室長会見の統一行動を実施。

ク 長崎

- ・1月16日に青年の考査管理室長会見の統一行動を実施。
- ・2月11日に全組合員を対象とした牡蠣小屋レクを実施予定。組合員の家族も対象。今のところ15名申込みがあった。料金は1名あたり500円。

ケ 沖縄

- ・1月からコロナが増えて親執行部からレクはストップするように言われている。

(2) 中等科アンケートの共有

- ・今期実施した中等科アンケートについて、中央書記局の村岡書記次長が分析した結果について説明があり共有した。議題3で検討する税関研修所会見議題で使用する。

(3) 税関研修所副所長会見議題検討

答申を含め、議題に沿って検討を行った。検討結果については以下のとおり。後日、検討結果を基に村岡中央書記次長が議題の素案を作成し、青年委員会メンバーに確認のメールをすることとした。また、村岡中央書記次長から会見の前後で施設の視察を検討している旨の説明があり、視察してみたい施設について確認を行った。村岡中央書記次長で取り纏め、研修所と調整することとした。

ア「議題3 施設等について」

(ア)「女性用トイレ及びシャワーの増設について」

(検討結果) 具体的に増設を要求する。増設が難しい場合の代替案も要求する。

(理由) 問題解決のため、具体的に記載することとした。青年委員会メンバーから寄宿舍本館6階のシャワー室があるとの発言があり、そこが開放されれば増設は不要かもしれないとのことで増設を要求しつつ、代替案として要求することとした。後日、村岡中央書記次長から研修所に寄宿舍本館のシャワー室について状況を確認することとした。

(イ)「居室について」

(検討結果) 文言中の「集合研修が再開された際には、～」を修正する。

(理由) 令和4年度からオンラインと集合の併用ではあるが、新規採用研修で集合が再開されているため、今回のアンケート結果を基に修正を行う。

(検討結果) 事前の清掃業者の清掃区域の要望に共用部も追加する。

(理由) 居室、廊下に限定する必要はないため。

(検討結果) カビの問題については、具体的に要求内容を記載する。

(理由) 前期の会見では、カビ対策として除湿器を要求している。青年委員会メンバーの過去の経験で、基礎科は夏季休暇で1週間不在にして官服がカビだらけになったとのこと。日々の対策としては除湿器で対応できるかもしれないが、長期不在では対応できないことが判明した。1階、2階でカビが発生していることから、対応策として、①長期不在中は、カビの発生しない場所に預けれるようにする。②1階2階に入居している基礎科研修生を普通科研修終了後に3階4階に移動させる。の意見があり議題に加えることとした。

(検討結果) 居室の通信環境については改善を要求する。

(理由) 要求するにあたり、業務性を理由に要求することは有効であると考えられることから、今回から要求することとした。令和5年度の新規採用研修から集合研修に戻れば、アンケートで通信環境(どのキャリアを使っている、何階でどのような電波状況か等)を聞くこととした。auは既に増幅器を導入済みで解決しているため、残りのdocomoとSoftbankについて、村岡中央書記次長から各社に問合せ(具体的な施設名は出さず、一般的な質問として法人に無料で貸出をすることができるのか)をして確認し、その結果を受けて議題の内容を修正することとした。

(検討結果) 食堂を再開してくださいとは要求せず、現状の問題点を伝え、現状を確認することとする。弁当については、改善を要求する。

(理 由) アンケートで食堂を望むか望まないかで明確に聞いておらず、全体でどのくらい再開を望んでいるか不明であり、令和4年度はオンラインと集合の併用だったことから、令和5年度で完全集合且つ弁当の提供となった場合に、アンケートで食堂の再開を望むのか望まないかを個別設問で確認し、要望が多ければ来期の会見議題に盛り込むこととした。ただ、今回のアンケートでも再開を望む声は一定数あったことから、今期の議題はその旨を記載して現状を確認することとした。弁当については、仮に令和5年度も弁当の提供であった場合を想定して今回のアンケート結果の問題点を伝え改善を要求することとした。

イ「議題4 各種研修について」

(ア)「新規採用研修について」

(検討結果) 文言中の「フォローアップ研修～」を削除する。

(理 由) 令和4年度はオンラインと集合の併用で研修を行っており、集合でのフォローアップ研修は必要がないため。

(検討結果) 簿記については、コマ数の増加までは要求しないこととした。

(理 由) 簿記については、そもそも採用研修時に知識の習得が必要なのかという意見があり、コマ数を増やすことまで要求しなくてもよいとなった。ただ、研修生からは一定の改善要望があるため、引き続き、分かりやすい講義となるように改善を要望することとした。

(検討結果) 基礎科が2回に分けて柏の研修所に行ったことについては改善を要求しない。

(理 由) 研修所に確認した結果も踏まえて要求不要であるため。

(イ)「在宅で行うオンライン研修の諸問題について」

(検討結果) 議題を「オンライン研修の諸問題について」に修正し、内容も修正する。

(理 由) 前期の中等科で行われた在宅でのオンライン研修については、コロナによる出勤抑制で行われたものであり、今期の中等科は本所と支所を繋いでのテレビ会議システムで行われているため、議題と内容については削除する。その代わり、オンライン研修での不満の声（音声、画面の乱れ、質問のしづらさ）が一定数あることから、「オンライン研修の諸問題」に修正して改善を要求することとした。質問のしづらさについては、村岡中央書記次長において、質問方法の状況を確認して整理することとした。

(4) JCUセミナーの検討

以下について、検討を行った。後日、村岡中央書記次長から中央執行委員会に諮り、了承が得られれば本予約することとした。

ア 開催時期、開催場所（プラン）について

- ・前回の青年委員会で検討した3案の日程、2案の場所で見積りをしたところ、2案の場所共に5月20日（土）-21日（日）しか空いていないとのことであった。
- ・検討の結果、プライベートでは通常しない、JCUセミナーだからこそ体験できる内容ということで樹海ウォークラリーができる富士研修所で5月20日（土）-21日（日）に開催することとした。
- ・セミナー部分については、前回の青年委員会でのデモを踏まえて検討したところ、好評であったことから、東京海上日動に依頼することとした。

イ 参加者人数の定数について

- ・参加者人数の定数については、各地区本部の青年層組合員で按分することにより決定した。

【定数（役員除く）】

函館2、東京18、横浜2、名古屋2、大阪2、神戸2、門司3、長崎2、沖縄3 計36名

※バス1台の一般参加者のMAXの人数。役員9名と私と旅行会社を合わせて47名。

※枠の振替えは、各地本間の了解が得られ、増えた枠分の旅費を地本負担で了解すれば可能（予算の関係上）。

ウ 役割分担について

- ・以下について、青年委員会内で担当分けを行い、次回青年委員会までに各担当で検討することとした。担当分けについては、後日、村岡中央書記次長から連絡することとした。

バスレク担当：バス内で行うレク（アイスブレイキング）について検討

景品担当：樹海ウォークラリー等での景品について検討

(5) 各種アンケート内容の検討

今期第1回目の検討を行った。次の青年委員会でも検討を行っていく。今回検討した結果を基に村岡中央書記次長で修正案を作成して、次回の青年委員会で提示することとした。

ア 基礎科、普通科アンケート

- ・設問1、3を削除する。

（理由）令和5年度は、集合のみの予定であるため。その他書きぶりはコロナ前に戻す。

- ・答申で上がった、中等科アドバイスと同じように、次年度の新規採用研修生に向けたアドバイスについては行わないこととした。

（理由）各関の人事課において、既に同様の取組み（研修前に前年度採用職員を呼んで、気を付けること、準備しておいた方が良いものを新規採用研修生に説明している）を行っているため。仮に税関労組でも同様の取組みを行う場合、研修開始前（柏に

行く前) にアドバイスを配布することが望ましいが、配布調整が難しいと考えられるため。

- ・議題 3 で話のあった寄宿舍本館の居室の通信環境と食堂の再開についても、アンケートに盛り込むこととした。

イ 中等科アンケート

- ・設問 2 ①の集合とオンラインどちらがいいかについては、コロナ後どちらがいいか分かるような聞き方に修正する。

ウ 青年委員会アンケート

- ・設問 2 ② (チャレンジ目標認知) を削除し、新たにチャレンジ目標に対する意見を追加 (理由) 前期に新規追加したチャレンジ目標の認知の設問について、アンケートの結果、多くが認知しているとの結果となったため、今期から認知の設問を削除し、チャレンジ目標に対する意見の設問を入れることとした。

エ その他全般

- ・QR コードをもう少し見やすいように工夫する
(理由) 現状、ネット回答を継続している地本が多く、回収率向上のため。

(6) 加入継続パンフレットの検討

青年委員会内での組織強化の取組みとして、加入継続パンフレットをリニューアルすることとした。検討結果は以下のとおり。今後、村岡中央書記次長で修正作業を行い、次回の青年委員会で案を提示することとした。完成後は、5 月の JCU セミナーでの組合学習や令和 5 年度新規採用職員の加入継続で活用していくこととする。

検討を行う前に、学習会として税関労組の福利厚生について村岡中央書記次長から説明があった。また、他組織の加入継続の取組みが自治労通信 (自治労の雑誌) に掲載されていたので紹介があった。

- ・P.1「～令和○年度新職員の皆さんへ～」について、青年委員長の写真を入れたパターンを作成してみる。次回の検討で入れるか入れないかを決定する。
- ・P.4「組合員になればこんな福利厚生が♪」について、今現在の福利厚生を簡単に紹介する形で全て掲載し、可能であれば QR コードを付けることとした。
- ・P.6「組合費及び組合費の使い道を教えてください。」について、文頭の「大雑把な言い方で説明すると」では、不信感を抱く職員もいると思われるため、言い方を変更することとした。
- ・項目の順番については、興味がある順と話の流れに沿った順の 2 パターンで作成することとした。
- ・P.8「青年委員会による活動紹介☆」について、JCU セミナー部分をもう少し膨らませたものと、地本レクを載せたパターンを作成することとした。

- ・若手の一般組合員のインタビュー又はコメントを載せる（例えば JCU セミナーの参加者など）。

(7) その他

- ・特になし。

以上